

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 4 区分
【発行日】 令和 7 年 6 月 4 日 (2025.6.4)

【国際公開番号】 WO2025/004889
【出願番号】 特願 2025-513471 (P2025-513471)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 3 2 B 7/022 (2019.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/30 1 0 2

B 3 2 B 7/022

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 3 月 4 日 (2025.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

20

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリオレフィン系基材層と、

第 1 のポリビニルアルコール系樹脂層と、

蒸着層と、

第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層と、

をこの順序で備える積層構造を有し、

前記蒸着層が、前記第 1 のポリビニルアルコール系樹脂層及び前記第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層と直接接しており、

30

前記第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層の断面におけるナノインデントによる押し込み硬度が、0.5 GPa 以下であり、

前記第 1 のポリビニルアルコール系樹脂層の断面におけるナノインデントによる押し込み硬度 (S1) に対する前記第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層の断面におけるナノインデントによる押し込み硬度 (S2) の比率 (S2/S1) が、3~10 である、ガスバリア積層体。

【請求項 2】

前記第 1 のポリビニルアルコール系樹脂層の厚さが、0.5~2.5 μm である、請求項 1 に記載のガスバリア積層体。

40

【請求項 3】

前記第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層が、Si を含む、請求項 1 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 4】

前記第 2 のポリビニルアルコール系樹脂層が、シランカップリング剤を含む、請求項 1 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 5】

前記蒸着層が、アルミニウム又は酸化ケイ素を含む、請求項 1 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 6】

50

前記ポリオレフィン系基材層と前記第 1 のポリビニルアルコール系樹脂層とが共押出層である、請求項 1 に記載のガスバリア積層体。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のガスバリア積層体を備える、包装材。

【請求項 8】

真空処理が施される包装体に用いられる、請求項 7 に記載の包装材。

【請求項 9】

冷凍処理が施される包装体に用いられる、請求項 7 に記載の包装材。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の包装材を備える、真空断熱材。

10

20

30

40

50